

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山平田校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15世帯	(回答者数) 15世帯
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験の豊富な職員や専門職の視点で支援できること	日頃から支援の内容について、職員間で共有する機会を設けている。その際、様々な視点で意見交換を行っている。	より支援内容を充実するための意見交換の実施。
2	利用者様、保護者様のニーズ、課題に沿った支援の提供	普段の支援様子や保護者様へのフィードバックまたは定期面談での要望等を職員間で共有し、児発管の指示のもと、日々の支援へ反映させている。	目標を明確にし、最終目標のイメージを利用者様、保護者様と共有しながら、支援を提供していく。
3	相談支援専門員との連携	相談支援専門員と定期的に情報共有を行い、担当者会議に積極的に参加している。	他事業所との連携強化。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内が狭い	運動するスペースの確保難しい。また、個別相談できる部屋(面談室)がない。	ワンフロアであるため、パーティションの位置を変更しながらスペースを確保している。運動場面では、必要に応じて、近隣の公園を利用することも検討していきたい。
2	小集団活動が少ない	個別療育が基本となっている。小集団活動の機会が少ない。また、小集団活動を実施するにあたり、教室のスペースの問題もあり、活動内容も工夫が必要な状況。	小集団活動を計画的に企画し、季節にあわせた活動の提供や保護者会の開催など事業所内でのイベントを検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山平田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

15世帯

回収数

15世帯

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	5	1	0	人数が多い時は少し狭いと思う。 もう少し広くてもいいのかなとは思いますが 建物自体が少し狭い	必要に応じて、パーテーションの位置を変更しながらスペースを確保できるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1	マンツーマンで見てもらえる	引き続き、個別療育を基本に丁寧な支援を心掛けます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	0	大きく数字で示されている	施設環境面で改良すべき点が発生した場合にはその都度対応させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2	0	1	すこし煩雑に思う時がある	整理整頓を徹底していきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0	支援内容がどう特性に影響するのかわからぬので	その都度、支援内容の目的について、説明させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	3	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	3	5		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	2	4	家族への指導は、是非していただきたい支援です	職員は知識向上に努めながら、事業所内での研修機会を設けていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	3	7		現在は、必要に応じて個別で対応させていただいております。今後は、保護者会の開催等、保護者様同士が交流できるよう計画していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	3	2	7		定期的にブログでの発信を行っています。発信していることを周知していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	2	7		毎月1回防災訓練を実施しており、その報告書を校舎に掲示しています。皆様に認識していただけるように努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	5		日頃からリスク管理は徹底していますが、万が一事故が発生した場合には、正確に状況説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	とても大好きな居場所になっています	ありがとうございます。引き続き、安心できる環境作りに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山平田校					公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目		15世帯	いいえ	15世帯	課題や改善すべき点		
	環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	ワンフロアだが、支援室の左右を個別ブースにとり共有ブースを広く取っている。ご利用者の特性に応じて、安全性に配慮した支援スペースを確保している。	時間帯によっては人口密度が高くなってしまふ。利用者の状態によってブースを振り分けたり、遊びの時間には、危険がないように中央部を仕切って使ったりと都度、環境調整が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	各専門性のある職員を配置している。	人数が少ないとは言えないが、指導員のお休みが重なったり、時間帯の利用者が偏ると振替が難しいときがある。また、災害など万が一の際、+αの人数がいれば動きやすいと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	ワンフロアなので、パーティションで区切り、各ブースに番号を掲示し、自分がどこのブースに入るのかわかりやすくしている。パーティションがたくさんあるため、環境設定がしやすい。	トイレには段差があり、バリアフリー化をしているとは言えない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	加湿器など定期的に清掃して清潔を保っている。事業所内は適宜消毒をしている。	狭さが問題になると思う。タイルカーベットのため、掃除機で綺麗に吸いきれないときがあるため、特に注意が必要な利用者の前には再度掃除機をかけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	クールダウンのために、倉庫をきれいにしてカーテンで仕切り、こもれる空間はつくっている。	完全個別のスペースがない。ワンフロアのため、音を遮断できる構造になっていない。改善できるとすれば、洗面台の部屋とトイレが別れているため、洗面台の部屋で落ち着く環境を作っていくこともできるのではと思う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		共通理解する場を設け、意見交換している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートをもとに改善計画を立て実施している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	共通理解する場を設け、意見交換している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		必要に応じて検討・実施していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		会社独自の研修や発達支援研究所の研修に参加している。			
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	支援プログラムは作成している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員で計画を立てている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		保護者・お子様・事業所の3視点で目標設定をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	児発管を中心に指導員で共有し計画立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		支援の振り返りと固定化にならないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	小集団活動の機会をさらに設けていきたい。	小集団の活動を実施しているが、個別活動が中心。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	情報共有を行い、安全に支援が行えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	終礼時は、特に必要と思われる事項だけ確認し、翌日の朝礼時に前日の支援の振り返りを実施。共有ノートを作成し、共有・連携の確認を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録を作成し、支援検討・改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		情報を共有するとともに対応を協議したうえで支援を実施している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	相談支援員さんがついている利用者については小学校とのケース会議にて共有を図っている。	相談支援員さんがついている利用者に関しては、積極的には行っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		今後の開催について協議していく。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		今後の開催について協議していく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の振り返りで共通理解が図れるように努めている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		家族支援プログラムを実施できるよう研修機会を設ける。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		5		契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		5		作成した支援計画はご理解いただけるように説明をしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		5		日々の振り返りやモニタリング時に実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後の開催について協議していく。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5		提案し迅速に対応するように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		5		ブログでの発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		5		施設にて保管・管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		5		困りごとを聞けるよう、常に心がけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		地域の方が参加できるイベントは実施できていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		5		年に数回、研修を行い感染症対応について、実践も交えて行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		5		防災訓練で確認をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		4	1	受付シートやアセスメントシートの記載を依頼し確認している。	予防接種の確認はできていない。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	1	基本的には食事の提供はしていないが、イベント開催時など食べ物を提供する場合は、アレルギー確認を徹底している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		5				